

体育教師に求められる能力に関する研究
～学校教育における集団行動を指導する力に着目して～

A study of the ability of physical education teacher
～Focusing on the ability for instruction of group behavior in school education～

1K07B107-5 柴崎章紀

指導教員 主査・友添秀則 副査・吉永武史

【動機・目的】

現代の社会では、学校や会社など様々な場面で集団として行動することを要求されているが、コミュニケーション能力の不足により集団の中で人間関係を作れず孤立してしまう人が多くいるという現実がある。そこで、集団行動を指導する力に着目してみた。この問題を解決するためには、集団の中でしっかりとした行動をとれるようにならなければならない、集団行動が必要となる。そのため、自ら集団行動を円滑に行えるようにする力である集団行動を指導する力が重要になってくるのだが、集団行動を指導する力は、特に体育教師に求められているようである。なぜ、体育教師には集団行動を指導する力が求められているのか。そして、集団行動の指導はどのように行っていったら良いのかということを明らかにし、今後の集団行動の指導のあり方について検討したいと思い本研究のテーマを設定した。本研究では、なぜ体育教師に集団行動を指導する力が求められるのかを明らかにするとともに、これからの集団行動の指導のあり方を提言する。

【方法】

本研究では文献及び関連ホームページを参考にしている。第1章では、集団行動の指導に関する先行研究を整理し、集団行動を指導する力とはどのような力なのか明らかにしていく。そして、第2章では、体育教師に集団行動を指導する力が必要な理由を、現代の社会問題との関連性や体育教師に期待される役割などから明らかにしていく。そして、第3章では、これまでの集団行動の指導について検討し、これからの集団行動の指導のあり方を提言する。

【第1章】

第1節では集団や集団行動の定義から、集団行動を成り立たせるためには、共通目標の認識、役割の分担、規範を理解し守るという3つの条件が必要不可欠であることを明らかにした。また、集団行動の指導に関する先行研究を整理した結果、集団行動を指導する力とは上記の3つの条件を指導する力であり、具体的には(1)集団行動の意義や必要性を理解させる力(2)集団行動の基本的な行動様式を身に付けさせる力(3)集団の約束やきまりを守って行動させる力(4)敏速・的確に行動させる力(5)互いに協力して自己の責任を果たさせる力(6)リーダーの指示に従って行動させる力(7)安全に留意して行動させる力といった7つの力のことでありと定義づけた。また社会情勢の変化と学習指導要領の変遷から、体育の教育目標が「身体教育」、「運動による教育」、「運動の教育」、「楽しい体育」へと変化し

ていったことを明らかにし、学校体育における集団行動の指導の存在意義がどのように変化してきたのかということをも明らかにした。

【第2章】

現在の社会において生じている、いじめ、コミュニケーション能力の不足、学校現場の危機管理および学級崩壊といった幾つかの問題は、集団行動を身につけることによって解決ないしは改善することができるため、集団行動を指導する力は現代の社会から求められているということが明らかにした。また、集団行動をとる機会が頻繁に生じるなどの体育授業特有の性格上、学校において、集団行動は主に体育授業で指導されている。加えて、学校において体育教師には、集団行動を指導する場である体育授業を担う体育科教員、さらには運動部指導教師などの役割が期待され、その役割を果たすには集団行動を指導する力が必要になってくる。以上のようなことを検討し、体育教師に集団行動を指導する力が必要だということを明らかにした。

【第3章】

現在の体育が目指すべき目標・理念を明らかにし、それに沿って、集団行動が目指すべき示唆を得て、集団行動を指導する際の具体的な指導法例を挙げた。さらに、集団行動を指導するうえで教師が理解しておかなければならない3つのポイントと集団行動を指導するうえで必要な理念を明らかにし、それに基づき集団行動を指導するうえで必要な教師教育の方向性を明らかにした。集団行動を指導するうえで必要な理念・指導法・教師教育を明らかにしたことにより集団行動の指導の方向性が明らかになった。

【結章】

集団行動の指導の必要性とその具体的な方策や理念を明らかにしたことによって体育教師には、集団行動を指導する力が必要と結論づける。また、その実践が、集団行動を指導するうえで必要なことを十分に理解された上でなされていかなければならないと結論付ける。

本研究では、本研究で明らかにした理念や目標に基づいてより多くの具体的な指導法を作っていくという課題や具体的な集団行動の運動技能の系統性を明らかにするという課題、さらに教師教育に関して、具体的な制度改革案や指導法を提示できていないため、より具体的な方法論を研究課題として残している。本研究で、体育教師が目指すべき理念や目標および、集団行動の指導を行う上で必要な理念や目標を明らかにしたので、それに基づいて本研究が残した課題が解決される必要がある。